

### 第3回日本・米国議員会議派遣参議院代表団報告書

	参議院議員	川上	義博
	同	徳永	久志
	同	猪口	邦子
	同	林	芳正
同 行	国際会議課長	清水	賢
会議要員	国際会議課	富士	由將
同	国際交流課	西尾	真純

本代表団は、平成24年4月24日（火）に米国連邦議会上院で開催された第3回日本・米国議員会議に参加するため、米国ワシントンDCを訪問した。

日本・米国議員会議は、日本国会と米国連邦議会上院の間で日米関係に関する共通の関心事項について議論するための公式の枠組みである。

今次会議においても、本代表団及び衆議院代表団から成る日本国会代表団（団長：仙谷由人衆議院議員、副団長：川上義博参議院議員及び黄川田徹衆議院議員、総議員数：10名）及び米国連邦議会上院対日交流議員団（団長：ダニエル・イノウエ上院仮議長、副団長：リサ・マカウスキー上院議員、総議員数：正副団長に加え、ジョン・ケリー外交委員長、カール・レビン国防委員長及びチャールズ・シューマー規則・運営委員長等9名）の双方の議員により、政治、安全保障及び経済等に係る問題について議論が行われた。

以下、会議及び派遣期間中に行われた各種行事の概要について報告する。なお、会議における自由な意見交換を確保するため、会議の詳細な内容を公表しない旨日本国会と米国連邦議会上院の間で取り決められていることから、以下の報告は、右取決めに基づいて行うこととする。

#### 1. 会議の概要

##### (1) 団長会合

会議に先立ち、4月23日（月）午後、米国連邦議会議事堂内で双方の代表による会合が開催され、日本側から仙谷団長、川上副団長及び黄川田副団長が、米国側からマカウスキー副団長が出席した。会合では、翌日の会議の進め方等について協議を行った。

##### (2) 会議セッション

会議は、4月24日（火）、米国連邦議会議事堂内上院歳出委員会

室で開催された。議事は、午前の第1セッションと午後の第2セッションに分けて行われた。

第1セッションは、日米等の政治問題や安全保障情勢等を議題とし、双方の議員により、アジア地域における安全保障戦略、在日米軍再編問題及び東日本大震災後の日本のエネルギー政策等に関して議論が行われた。

第2セッションは、経済・貿易問題等を議題とし、双方の議員により、環太平洋パートナーシップ（TPP）に対する日米の現状認識及び今後の展望、米国産天然ガスの日本への輸出及び社会福祉に対する財源確保策等に関して議論が行われた。

### **（3）その他**

会議の合間及び終了後に、米国連邦議会上院対日交流議員団により昼食会及び送別レセプションが開催され、双方の議員間の交流を深める機会を得た。このほか、第2セッションの直後、日本国会代表団は、上院本会議における法案審議を傍聴した。

## **2. 各種行事**

日本国会代表団は、今次派遣の機会を利用して、以下の活動を行ったところ、その概要は以下のとおりである。

### **（1）ビル・バーンズ国務副長官との会談**

4月23日（月）午後に行われたバーンズ国務副長官との会談では、安全保障情勢、エネルギー問題及びTPPの今後の見通し等に関する意見交換が行われた。

### **（2）リチャード・アーミテージ元国務副長官との会談**

4月23日（月）朝に行われたアーミテージ元国務副長官との会談では、中国の経済及び軍事情勢、北朝鮮問題、在日米軍再編問題及び中東情勢等に関する意見交換が行われた。

### **（3）チャールズ・クック氏（政治アナリスト）との懇談**

米国の著名な政治アナリストであるクック氏との懇談は、4月22日（日）午後に行われ、本年行われる米国大統領選挙の見通し、同選挙の有力候補者の政策等についての同氏の分析を聴取するとともに、同選挙戦における主な争点等に関して意見交換が行われた。

### **（4）シンクタンク訪問**

4月23日（月）、日本国会代表団は、日米関係等について分析及

び政策提言を行う著名なシンクタンクである米国進歩センター（CAP）及び戦略国際問題研究所（CSIS）を訪問した。

CAPでは、ジョン・ポDESTA理事長兼顧問（元大統領首席補佐官）等と日本のエネルギー政策の方向性及び日本のTPP参加に向けた今後の動き等について意見が交わされ、また、CSISでは、マイケル・グリーン上級顧問兼日本部長（元国家安全保障会議アジア上級部長）及びマシュー・グッドマン政治経済部長（元国家安全保障会議国際経済部長）と北朝鮮情勢及びTPP参加問題等に関して懇談が行われた。

#### （５）日本国会代表団歓迎レセプション

4月23日（月）夜、日本国会代表団は、米日カウンスル（日米間の人的交流促進を目的として2009年に設立された非営利団体）が主催した日本国会代表団歓迎レセプションに参加した。

レセプションには、米側より、米日カウンスル会長のほか、マカウスキー副団長を含む多数の米国連邦議会上下両院議員等が出席し、日本国会代表団と交流を深めた。

### 3. 終わりに

日米両国のみならず世界全体で安全保障や経済等に係る情勢が大きく変化する中、これらの変化は、日米各国の施策や両国が協調して行う取組にも影響を及ぼす可能性がある。ゆえに、日米の議会レベルでも、両国が直面する課題やあるべき施策に関する意見の交換や認識の共有を図ることが一層重要となっている。今般の会議においても、安全保障、日本のエネルギー政策及び経済連携の進め方等、両国間の重要な懸案について双方より活発に議論が行われたほか、その他行事を通じて、多くの米国連邦議会議員との交流を深め、日米議会間の関係強化の必要性を確認し合うという成果を得た。

このような情勢及び経緯を踏まえ、今後も、日本・米国議員会議が両国議会間の公式な対話の基盤として、その役割を果たし得るよう、定期的かつ継続的な会議の開に向けた取組を続けていくべきと考える。